

金属部品の補修に新しい選択肢を

～ 溶射技術による低コスト補修 ～

この技術のメリット

- 大型製品から局所的な補修まで対応可能
- 修理コストの低減が可能



特長

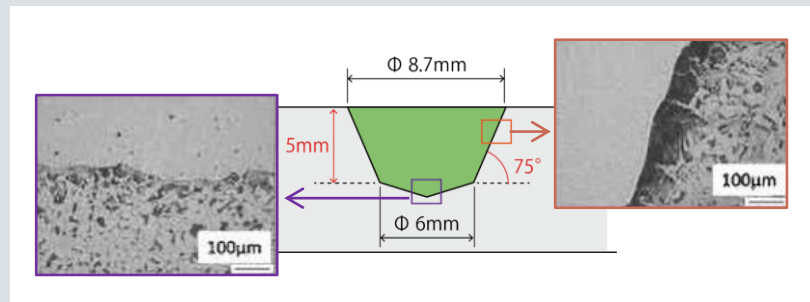
- 多くの種類の素材を溶射して基材のコーティングが可能
- 基材に無い特性を成膜で付加することが可能

概要

- 深さ5mm（傾斜角75°）程度の損傷であれば隙間なく皮膜形成
- 軟鉄、鋳鉄、ステンレス鋼いずれにも溶射皮膜は金属的に結合
- 耐食試験の結果、ステンレス鋼は鋭敏化を抑制する溶射材料の選定が重要



溶射の様子



断面組織（深さ5mm、角度75°）

企業様へのご提案

- 修理コスト削減×部品延命＝さらなるコスト削減が期待できます

詳しい研究報告



お問合せ

材料技術部 素形材技術グループ